

エコマール那覇プラザ棟ニュース NO. 244



〒901-1105 南風原町字新川 641

(電話) 098-889-5396

(開館) 8:30~17:15 (月~金)

(ファックス) 098-835-6253

10:00~15:00 (第1~第4土曜日)

(e-mail) re-plaza@m1.cosmos.ne.jp

(休館) 第5土曜日、日曜日、祝日、年末年始

(ホームページ) <http://www.city.naha.okinawa.jp/kakuka/haikibututaisaku/20141222purazatou.html>

9月の講座 プラザ棟の講座を通して、ごみ減量・環境問題の取り組みにお役立てください。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 閉館	4	5	6	7	8 ◆再生工房 家具抽選会 (1回目) 12時30分頃に 抽選会を始めます。	9 開館 合同見学 エコマール那覇 ①リサイクル棟 ②プラザ棟 13時~15時
10 閉館	11	12	13	14	15	16 刃物の研ぎ講座 (無料・定員10人) 13時~15 ・包丁、ハサミ持参 リユース市 午前10時~12時 (第4土曜日は、 秋分の日のため 閉館になります。 その代替日です。)
<p>◆「なんくるどうくるコーナー」を活用して下さい。(要予約) 自分のペースでリメイク作品を作りたい方のスペースです。 個人でも少人数の間でも利用できます。リメイク講座を受講した 方で、ミシンの取り扱いができる方は、自分でリメイクの作業を することができます。現在、定期的に有志で集まった方々が、リメイ ク作品を作っています。 *材料は、ご自分で用意して下さい。</p>						
17 閉館	18 閉館 敬老の日	19 簡単リユース講座 ・裂き織りコース ・Tシャツ加工 ・Tシャツバッグ ・段ボール紙封筒 ・生ごみ処理 10時~12時 予約時に受講したい 内容をお伝え下さい。	20 古着で作る布ぞうり (定員5人) 9時~13時 ・Tシャツ5枚 布切れ持参 ・ヒモ代30円	21 古着・古布の 草木染め講座 10時~12時 (無料・定員10人) ・玉ねぎの皮で 染めます ・天然素材のTシャツ 1枚程度持参	22 古着で作る布ぞうり (定員5人) 9時~13時 ・Tシャツ5枚 布切れ持参 ・ヒモ代30円 ◆再生工房 家具抽選会 (2回目) 12時30分頃に 抽選会を始めます	23 閉館 秋分の日
24 閉館	25	26 リメイク講座① (2回講座) 10時~12時 ネクタイで作る ポーチ(無料)定員10人 ・ネクタイ、接着芯 裁縫道具持参	27 リメイク講座② (2回講座) 10時~12時 ネクタイで作る ポーチ	28 季節の講座 古布のハギシで 作るお月見うさぎ (無料)定員10人 10時~13時 ・綿、裁縫道具を持参	29 閉館 館内清掃の為 臨時休館 電話対応・家具 の引き渡しは 行ないます。	30 閉館

■リユース市 (資源化物衣類の中からスタッフが選別したものを販売)

・オープン時間: 月曜日~金曜日: 午後 1時 ~ 3時
9/16 (土): 午前 10時 ~ 12時

■再生工房 (再利用可能な家具の展示販売)

・見学: 開館時間中は、いつでも見学ができます。
・抽選会: 9/8 (金)、9/22 (金)
12時30分に抽選会を始めます。

■講座参加に関するお願い■

◎講座受付は那覇市内在住・在勤の方を優先します。
(市外の方は、同じ月に受講できる講座は2講座までです。)
◎各講座は、講座の2週間前からの受付です。
◎キャンセルの場合は必ずご連絡下さい
◎準備・片付けのご協力をお願いします。

今月の臨時休館日 9月29日(金)

※月の平日の最終日(館内清掃のため)

もんぺ作りボランティアの方のための指導も行ないます。

よしみじいちゃんのお知恵拝借 その35



＝よしみじいちゃんのおうちは、いつ行ってもさわやか！＝

先日、数カ月ぶりによしみじいちゃんの自宅を訪問しました。

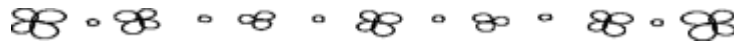
いつもと変わらず掃除が行き届き、整理整頓された気持ちいい場所でした。

今回訪問した理由は、整理収納アドバイザーの方から、「まえひらよしみさんの家を見学したい」という依頼があったからで、私も一緒に同行しました。

この方が講師を務めるシニア向けの片付け術講座で、よしみじいちゃんの暮らしぶりを紹介させてもらいたい、ということでした。さすが、我らのよしみじいちゃんは、プロの片付けの先生がいらしても堂々と自宅の案内ができる。これも、こまめに掃除と片づけをしている賜物。

この日に、私もよしみじいちゃんのアイディアをもらいました。よしみじいちゃん宅の駐車場に姿見（大きい鏡）が、設置されていました。出かける前に、身だしなみを整えるそうです。

私は、姿見というものは家の中で使うものだと思っていましたが、「屋外に置く」という発想はありませんでした。我が家でも早速、部屋で使わなくなった姿見をベランダに移動。出かける前の自分の姿をチェックするには、屋外の鏡の設置っていいかもしれません。（み）



先月号は、6月21日に80歳になったよしみじいちゃんのメッセージを紹介しました。よしみじいちゃんは、家具修理に対する思いも綴っていました。今回は、その文章を掲載します。

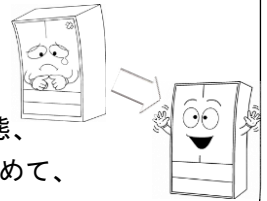
＝家具の修理で応用力アップ＝

使い古された家具の修理は、実に様々である。数分で直せるもの、また一品直すのに数日かかるもの、損傷や欠損・摩耗の具合、複雑骨折状態、はく離（はがれていること）、ぐらつき、強度不足、外観、用途等を見きわめて、どのように修理するかを考える。

元の形・姿に戻すことだけでなく、全く違う家具として生まれ変わるものもある。

家具の修理を通して、ふゆーしない（物事を先延ばししない）体質と物事に対応できる力がついてきたと思う。

よしみ（6月30日記）



＝プラザ棟の取り組みを発表してきます！＝

来る10月14日（土）愛知県豊田市にある「eco-T（エコット）」にて、「リサイクルプラザ・環境学習センター 活性化プログラム in 豊田」というフォーラムが開催されます。昨年10月に佐賀市、今年6月に宇都宮市で行われたフォーラムに続き、豊田市で3回目になります。

このフォーラムは、日本全国に設置されている「リサイクルプラザ」（ごみ減量、リサイクル推進の啓発施設）を運営する団体や行政などが集まり、事例発表やグループ討論を通して問題点を出し合い、解決していこうというもの。

今回は、主催する「生活環境ネット C&C」さんからの依頼で、エコマール那覇プラザ棟の「食器と衣装のレンタル事業」を中心にプラザ棟の事例発表を行うため、スタッフ3人で豊田市に出向きます。

2000年に、「リユース食器を使って、使い捨て食器を減らす」という目的でリユース食器貸し出し事業を開始。2007年に「資源化物衣類を衣装として有効利用する」という目的で衣装のレンタルを開始。

いずれも、他施設に先駆けてプラザ棟が始めた取り組みです。特に、衣装の貸し出し事業は珍しい取り組みかもしれません。これまでのプラザ棟の活動を発信するとともに、他施設の皆さんとの情報交換を通して、今後の活動に活かしていきたいと思えます。



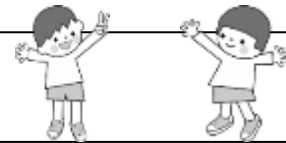
夏休み期間中のできごと、いろいろ

7月下旬から8月下旬にかけて、子ども向け講座や施設見学ツアーの開催、小学生職場体験の受け入れなど、幼児から中学生まで幅広い年代の子どもたちに出会えた1ヶ月間でした。



＝作品を手に、笑顔があふれたこどもたち＝
夏休みの講座は、古布を使った染めもの、裂き織りコースター、布ぞうりなどの講座に加え、今年はブローチ作りや裂き織りタペストリー作りも行ないました。段ボール箱を使ったシーサーの置物作りも大人気でした。両親やおばあちゃんと一緒に参加する子どもが多く、一緒に作業をすることで、家族とのふれあいにもなっていたようです。

＝出会い＝
講座で仲良くなった子どもたちがその場を盛り上げたり、意気投合した親子で別の講座と一緒に参加したり…、講座が出会いの場となり、「仲良し」の輪が広がっていきました。県外在住の子どもが親戚に会いに来た際に、講座に参加した子もいましたよ。



＝職場体験に来た小学生のおかげで
中古家具がピカピカに＝

那覇・南風原クリーンセンターに小学6年生女子3人が職場体験に来ていました。その一環として、プラザ棟でも「裂き織りコースター作り」と「再生工房で中古家具の清掃」の体験をしてもらいました。

こちらにいたのは、ほんの数時間でしたが、彼女たちのはつらつとした様子、楽しい会話に私たちスタッフもつられて大笑い。

でも、中古家具の清掃は黙々と作業をしてくれて、丁寧な仕上がり具合に、担当のスタッフもとても喜んでいました。

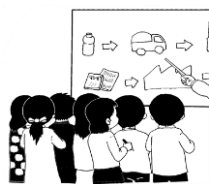
＝施設見学ツアー、学ぶことだらけ＝
7月31日（月）に、スタッフ含め24人のメンバーで2施設に見学に行きました。

1つ目の訪問先は、南風原町にある「のぞみの里」。ここでは、コンビニや学校給食で出た食品廃棄物を微生物による発酵処理をして豚の餌に。

スーパーや南風原町内6地域の家庭から出る生ごみは堆肥として、リサイクルする取り組みをしています。

2つ目は、八重瀬町にプラントがある「(株)トリム」。びんのカレット（破片）を処理して、ガラスの粉から軽石を作る工程を見学しました。スーパーソールと呼ばれるこの軽石は、緑化・園芸・建築・土木などに利用され、この技術を導入している県外のプラントメーカーが12ヶ所もあるそうです。

2施設とも、案内をする方の説明が分かりやすく、参加した子どもたちからも質問が飛び交っていました。県内で、こんな素晴らしい取り組みをしている所があることに、誇らしく感じるという保護者もいました。



■沖縄の昔あれこれ■ 36回目



モノが無くて工夫して楽しんで暮らしていた古き良き時代、その時代に生きたプラザ棟スタッフの、今だから語れるエピソード。今回は、リメイク講座の講師、衣装レンタルコーナーの管理をしている春ちゃんの幼少期のエピソード。

＝十五夜のお供えの思い出＝

旧暦の8月15日が、十五夜です。1年でもっとも明るく、美しい月が見られるそうです。私が幼い時は、季節ごとの行事のたびに、お供えをして自然に感謝して暮らしていました。

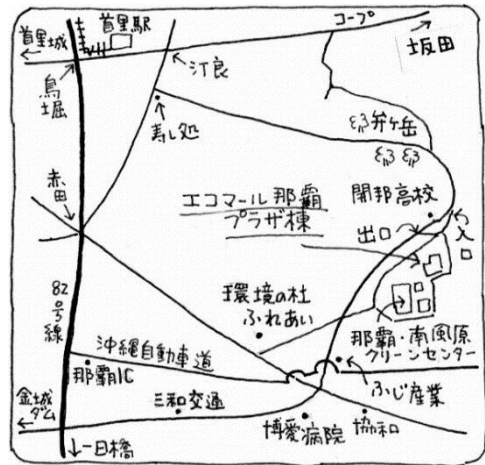
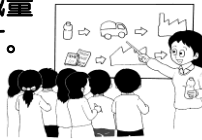
昔は、今のように豊富な果物もなかったのが、十五夜には、すすきとお団子・オニギリ程度のものしかお供えできませんでしたが、明るく輝く月とすすきとのコントラストが幻想的で、まるで絵画のように見えました。今年の十五夜は、10月4日（水）だそうです。





エコマール那覇プラザ棟では、ごみ減量のためにさまざまな活動をしています。

- 環境講座、イベント開催
- ごみ処理施設見学対応
- エコイベント推進のためのリユース食器貸し出し
(イベントの容器ごみ削減のために、貸し出ししています。)
*衛生的に管理するため食器洗浄機で高温洗浄しています。
そのための洗剤代をご負担していただきます。
- 学習発表会等への衣装レンタル
(資源化物衣類の再利用)
- リユース市(古着・古布の販売)開催
- 環境書籍の貸し出し
- 環境に関する情報の展示・相談
- 生ごみ処理実践、生ごみ堆肥を利用した植栽管理
- 再生工房の管理
*再利用可能な家具の展示販売*市民からの家具の持込みも受け付けています。
(再生工房専用 HP) <http://ecmnaa.info/>



「再生工房」「エコマール那覇」と検索すれば出てきます。スタッフのブログ「再生工房の日々」と「よしみいちゃんの作業日記」も更新しています。

プラザ棟ニュースは再生紙を使用しています

- ☆「エコマール那覇プラザ棟」の啓発部門は「アースの会」が受託運営しています。
- ☆「アースの会」は地球環境に負担をかけない暮らしの情報発信やグリーンコンシューマー(環境市民)を増やすための活動をしています。